



自衛隊栃木地方協力本部

横須賀地区潜水艦見学ツアー ～潜水艦潜人体験！！～

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 松田 桃子1陸佐）は10月25日（土）、横須賀地区において募集対象者13名に対し、潜水艦見学ツアーを実施した。

岸壁に到着すると、複数の潜水艦が停泊しており、圧巻の風景に歓声が上がった。参加者たちは「海と潜水艦をみるとテンション上がる」と楽しそうに話していた。今回は、潜水艦「こくりゅう」に乗艦することになり、普段は秘密のヴェールに包まれている潜水艦への潜入に、参加者一同期待で胸が高鳴った。潜水艦の入口はまるでマンホールのようになっており、参加者たちはおそるおそる中に入ると、狭い空間を効率的に利用している潜水艦の構造にしきりに感心していた。特に食堂の椅子の中に玉ねぎなどの野菜が保存されていたり、大きな魚雷をどうやって潜水艦内に運びこむかなどの現地説明に、興味深く聞き入っていた。また、潜水中外が見えない潜水艦は、昼と夜を判別するため、昼は白、夜は赤色の照明を使用するという説明を受け、窓がなく狭い隊員の居住区など、通常の生活とは違う空間で勤務する隊員に改めて感謝と労いの言葉が聞こえた。参加した学生は「海上自衛隊の艦艇勤務を希望しているので、今日の見学をとっても楽しみにしていました。今回の見学で潜水艦勤務にも興味を持ちました」と笑顔で話してくれた。

心に残る特別な体験に思いをはせ、名残惜しそうに岸壁に停泊している潜水艦を眺めながら乗員の振る帽子に精一杯応え、横須賀地区を後にした。
栃木地本は「今後も、各種イベントを通じ募集対象者等に自衛隊の魅力を発信するとともに、艦艇広報は海の無い栃木県で海上自衛隊を体験してもらええる特別なチャンスと捉え、積極的に実施していく」としている。



潜水艦「こくりゅう」乗員からの
外観説明の様子



潜水艦「こくりゅう」の前で
2人仲良く撮影



潜水艦「こくりゅう」の前で記念撮影

佐野日本大学短期大学でのキャリア教育支援！ ～短大生の職業意識の向上を図る！～

自衛隊栃木地方協力本部足利地域事務所（所長 後藤2陸尉）は11月13日（木）、栃木県佐野市に所在する佐野日本大学短期大学において、キャリア教育支援を行った。
キャリア教育支援では、自衛隊栃木地方協力本部募集課長（斉藤2空佐）及び宇都宮募集案内所長（本郷3海佐）が講師を務め、29名の学生が聴講した。また、教育後半では6個グループに分かれ広報官等が個別に説明を実施し、自衛官の体験談などを交えた分かりやすい説明は学生達から好評を得ていた。学生たちは将来の進路を意識し、積極的に質疑応答を行うなど、真剣な眼差しで聴講していたことが印象的であった。
足利地域事務所は「今後も短期大学との協力関係を維持するとともに、積極的に授業等を支援していく」としている。



キャリア教育の様子（講師 斉藤2空佐）



キャリア教育の様子（講師 本郷3海佐）



広報官等によるグループ説明の様子